



Title	大阪大学人間科学部紀要 第13巻 裏表紙
Author(s)	
Citation	大阪大学人間科学部紀要. 1987, 13
Version Type	VoR
URL	https://hdl.handle.net/11094/21354
rights	
Note	

The University of Osaka Institutional Knowledge Archive : OUKA

<https://ir.library.osaka-u.ac.jp/>

The University of Osaka

執筆者紹介

柏原 恵龍 人間科学部 助手 (教育心理学講座)
 片岡 栄美 " " (教育社会学講座)
 菅野 盾樹 " 助教授 (人間学講座)
 中島 義明 " " (行動学講座)
 柏原 崇 " 教務職員 (行動学講座)
 三隅 二不二 " 教授 (社会心理学講座)
 Mark. F. Peterson テキサス州立大学助教授
 米谷 淳 人間科学部 助手 (比較行動論講座)
 下河内 稔 " 教授 (行動生理学講座)
 志村 剛 " 助手 (行動生理学講座)
 吉田 光雄 " 助教授 (行動工学講座)
 山田 恒夫 " 助手 (行動工学講座)
 南 徹弘 " 助教授 (附属比較行動実験施設)

編集後記

紀要論文は丸善の400字横書きの原稿用紙に手書きする、というのがわが学部では不文律になっていた。したがって執筆希望者に対して、例年のように原稿用紙を今年も配布した。ところが提出されたものを見ると、ワープロで打った論文が数本出てきた。苦労して原稿用紙のます目に打ち込んだもの、裏面をつかって、一枚400字を守られたものなど、いろいろ出てきた。かく言う筆者も、ワープロA4用紙に、打ち込んでいる。こうした動向を踏まえて、来年度以降は従来の不文律をどう変えていけばよいか、一気にワープロA4での提出に踏み切るか、従来との折衷で行くべきか、紀要編集委員会で協議中である。それにもしても時代の流れが改めて痛感される昨今ではある。

今年度は二人の退官教授をお送りすることになり、それぞれの講座から研究業績などの一覧を出して頂き、本紀要に收めることにした。先に第11巻(1985)に既退官教授11名の業績一覧が一括して掲載されているので、その後を受けての事である。本学部の研究や運営に尽力された三隈・田中両教授に心から謝意を呈する次第である。

編集作業を終えるに際し、これにかかわった諸氏に感謝の意を表する。

紀要編集委員

○水 越 敏 行

南 徹 弘 厚 東 洋 輔

梶 原 景 昭 阿 部 彰

(○印委員長)

昭和62年3月20日 印刷

昭和62年3月30日 発行

大阪大学 人間科学部紀要 第13巻

編集・発行 大阪大学人間科学部

〒565 吹田市山田丘1-2

TEL 06(877) 5111(大代表)

印 刷 大阪市福島区玉川3丁目6番4号

阪東印刷紙器工業所

BULLETIN

VOL. 13

1987

CONTENTS

Investigation of Right-Left EEG Asymmetry During Verbal and Nonverbal Information Processing.	Eryu Kashihara (1)
Social Class Differences in Child Rearing in Japan	Emi Kataoka (23)
IRony.....	Sugeno Tateki (53)
Intuitive Physics	
—Cognition of Trajectories of Moving Objects—	
.....Yoshiaki Nakajima (79)	
Contrasting Views in the Theory of Perception	
—Direct Perception and Indirect Perception—	
.....Takashi Kashiwabara (109)	
Developing a Performance-Maintenance (PM)	
Theory of Leadership	
.....Jyuji Misumi	
.....Mark F. Peterson (135)	
Figural after-Effect, Successive Contrasi and the Warming-up Effect: Three Phenomena and the Set in Size Comparisons	
.....Kiyoshi Maiya (171)	
The Effects of Electrical Stimulation of the Medial Preoptic Area Upon Neuronal Activities of the Ventral Tegmental Area	
.....Tsuyoshi Shimura and Minoru Shimokochi (197)	
Multicollinearity and Ridge Regression in Regression Analysis	
.....Mitsuo Yoshida (227)	
Autoshaping and Adaptive Behavior: Performance Theories in Pavlovian Conditioning	
.....Tsuneo Yamada (243)	
Behavioral Development and Sex Differences in Primates	
.....Tetuhiro Minami (269)	

Published

by

THE FACULTY OF HUMAN SCIENCES
OSAKA UNIVERSITY